

コンクリート・コアの 圧縮強度試験結果報告書

試験番号	0037
受付	平成24年 8月 3日
報告	平成24年 8月 3日

一般財団法人 日本建築総合試験研究所
試験研究センター
センター長 工学博士 井上



試験依頼者	株式会社 ナカタ		
所在地	[Redacted]		
工事名	[Redacted] 耐震改修工事		
工事施工者	株式会社 ナカタ		
試験の目的	1.耐力度調査 2.構造体コンクリート強度検査 ③ (コンクリート圧縮強度試験)		
採取箇所	コンクリート基礎		
打込年月日	平成24年 6月 19日	採取年月日	平成24年 8月 3日
直径・数量	φ 7 cm 1本	設計基準強度	18 (N/mm ²) / (kgf/cm ²) 粗骨材最大寸法 20 mm
搬入前養生	①室内空中養生 2.現場空中養生 3.現場水中養生 4.()		
搬入後養生	1.40~48時間標準水中養生 ②室内空中養生 3.()		
その他	---		

(この枠内は試験依頼者記入による)

試験結果

試験年月日：平成24年 8月 3日

供試体番号	平均直径 (mm)	平均高さ (mm)	質量 (g)	最大荷重 (×10 ³ N)	補正前の圧縮強度 (N/mm ²)	高さとの比	補正係数	補正後の圧縮強度 (N/mm ²)	外観	
									異常の有無	内部に含まれる鉄筋 (本数-径)
-----	67.5	119.8	1031	120	33.5	1.775	0.981	32.9	無し	1-D10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

備考

- ・試験は、JIS A 1107「コンクリートからのコアの採取方法及び圧縮強度試験方法」に準じた。
- ・補正後の圧縮強度は、供試体の高さとの比に基づく補正係数を乗じて、直径の2倍の高さをもつ供試体の強度に換算した値を示す。ただし、補正後の圧縮強度が100N/mm²を上回る場合には、圧縮強度の補正は行わない。
- ・試験結果には、試験機の精度による±1%以内の誤差を含む。



技術管理者 材料部 堺試験室 室長 大橋 正治 TEL 072-244-3912